

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第4週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は4,563人(定点あたり91.8)で、前週比96%であった。

前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

伝染性紅斑の報告数は47人(1.3)で前週比147%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.21)の約6.2倍と多い。中央(3.0)、高鍋(2.8)、高千穂(2.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では2歳から6歳で全体の約7割を占めた。

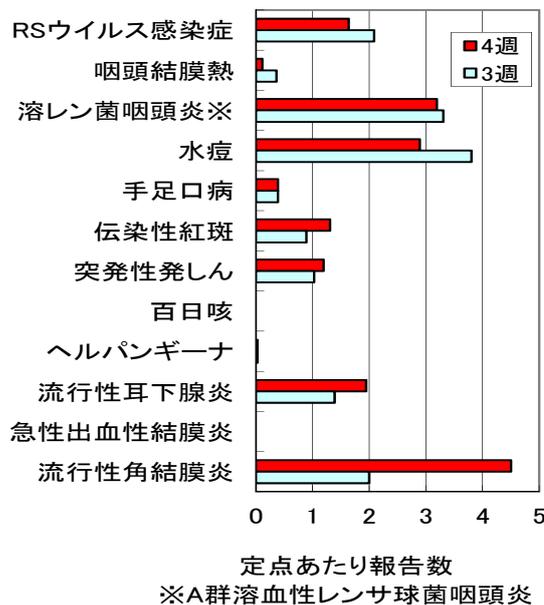
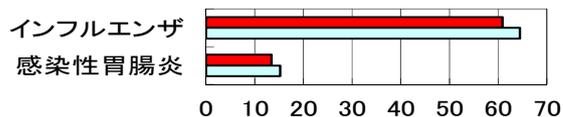
流行性耳下腺炎の報告数は70人(1.9)で前週比140%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.1)の約1.8倍である。日南・中央(各9.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では2歳から5歳で全体の約7割を占めた。

インフルエンザの報告数は3,592人(60.9)で前週比94%と減少した。県全体で警報レベルを超え、延岡(104.1)、小林(75.2)、日南(65.4)保健所からの報告が多かった。年齢別では5歳以下が全体の35%、6-9歳が26%、10-14歳が18%、15-19歳が4%、20-50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。10歳代の女子で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。1歳の女児で原因菌は *Chlamydia pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 感染性胃腸炎の集団発生 (平成23年1月24日~平成23年1月30日まで)

感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	60.9	延岡(104.1)、小林(75.2)、日南(65.4)、都城(64.5)、中央(64.0)、宮崎市(50.0)、高鍋(45.7)、日向(42.2)、高千穂(30.0)	5歳以下が全体の35%、6～9歳が26%、10～14歳が18%、15～19歳が4%、20～50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.2	延岡(12.3)	2歳～8歳で全体の約8割をしめた。
感染性胃腸炎	20	13.5	小林(28.7)、日南(24.0)	1歳～3歳で全体の約4割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.3	中央(3.0)、高鍋(2.8)、高千穂(2.0)	2歳～6歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	1.9	日南・中央(各9.0)	2歳～5歳で全体の約7割を占めた。
流行性角結膜炎	8	4.5	宮崎市(8.3)	10歳未満・20～30歳代で全体の約4割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例が宮崎市 (3 例)、日南 (1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。
・70 歳代の女性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
・70 歳代の女性でその他の結核 (骨結核)。胸部皮下腫瘍がみられた。
《日南保健所》・30 歳代の男性で肺結核。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。20 歳代の男性で、原因菌の O 血清型は不明 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○アメーバ赤痢 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の男性で腸管及び腸管外アメーバ症。下痢、腹痛、発熱、右季肋部痛、肝膿瘍がみられた。
○梅毒 1 例が小林保健所から報告された。30 歳代の男性で早期顕症梅毒Ⅱ期。口内炎がみられた。

■ 全国第 3 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 43.8 で、前週比 152%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した疾患は流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 130,515 人 (26.4) で、前週比 218%と増加した。宮崎県 (64.5)、沖縄県 (63.2)、福岡県 (49.0) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 27%、6-9 歳が 21%、10-14 歳が 17%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 27%、60 歳以上が 2%を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,133 人 (2.0) で、前週比 135%と増加した。例年同時期の約 1.2 倍である。石川県 (6.5)、山形県 (4.8)、新潟県 (4.6) からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約 6 割を占めた。

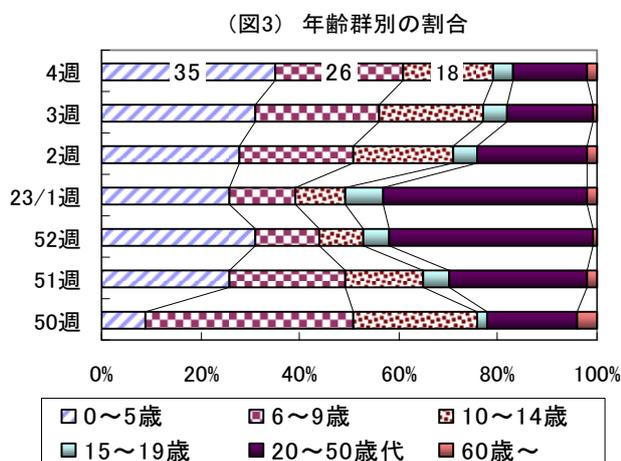
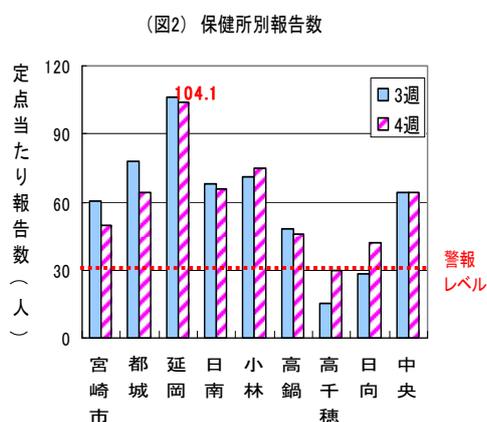
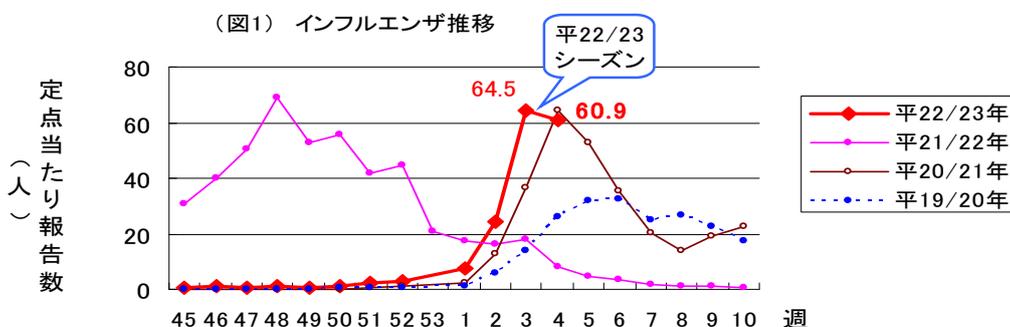
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 315 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 12 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 6 例、つつが虫病 2 例、デング熱 2 例、レジオネラ症 9 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 13 例、ウイルス性肝炎 5 例、急性脳炎 6 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 17 例、梅毒 9 例、風しん 3 例、麻しん 8 例

■ インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

平成23年1月24日～1月30日までの1週間で3,592人（定点あたり60.9）の報告があり、前週に比べ94%とやや減少した（図1）。すべての保健所が警報レベルを超え、特に延岡（104.1）・小林（75.2）・日南（65.4）保健所からの報告数が多かった（図2）。年齢別では5歳以下が全体の35%、6-9歳が26%、10-14歳が18%、15-19歳が4%、20-50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた（図3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (4週)		1週前 (3週)		2週前 (2週)		3週前 (1週)		4週前 (52週)		5週前 (51週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	50.0	○	60.6	○	17.6	△	3.9	-	0.8	-	0.3	-
都城	64.5	○	78.1	○	36.9	○	16.9	△	9.7	-	10.8	△
延岡	104.1	○	105.9	○	45.3	○	10.4	△	5.6	-	3.0	-
日南	65.4	○	68.2	○	29.4	△	6.4	-	0.0	-	0.4	-
小林	75.2	○	71.4	○	23.8	△	7.8	-	1.2	-	0.4	-
高鍋	45.7	○	48.2	○	16.5	△	5.2	-	1.0	-	0.3	-
高千穂	30.0	○	15.5	△	8.5	-	1.0	-	0.0	-	0.0	-
日向	42.2	○	28.0	△	8.2	-	1.7	-	0.7	-	0.8	-
中央	64.0	○	64.0	○	11.0	△	4.5	-	0.0	-	0.0	-

□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

平成23年1月17日～1月23日までの1週間で130,515人（26.4）の報告があり、前週比218%と増加した。宮崎県（64.5）、沖縄県（63.2）、福岡県（49.0）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の27%、6-9歳が21%、10-14歳が17%、15-19歳が6%、20-50歳代が27%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第04週(01月24日～01月30日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3805	3592	800	645	729	327	376	274	60	253	128
	定点あたり	64.49	60.88	50.00	64.50	104.14	65.40	75.20	45.67	30.00	42.17	64.00
RSウイルス 感染症	報告数	75	59	14	16	4	6		6	1	12	
	定点あたり	2.08	1.64	1.40	2.67	1.00	2.00	0.00	1.50	1.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	4		1	2					1	
	定点あたり	0.36	0.11	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	119	115	14	6	49	11		18		17	
	定点あたり	3.31	3.19	1.40	1.00	12.25	3.67	0.00	4.50	0.00	4.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	548	485	81	68	58	72	86	46	10	52	12
	定点あたり	15.22	13.47	8.10	11.33	14.50	24.00	28.67	11.50	10.00	13.00	12.00
水痘	報告数	137	104	35	21	4	7	5	18	1	9	4
	定点あたり	3.81	2.89	3.50	3.50	1.00	2.33	1.67	4.50	1.00	2.25	4.00
手足口病	報告数	14	14	4	5						5	
	定点あたり	0.39	0.39	0.40	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	32	47	15	6	5	3	2	11	2		3
	定点あたり	0.89	1.31	1.50	1.00	1.25	1.00	0.67	2.75	2.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	37	43	12	8	11	4	2	3		3	
	定点あたり	1.03	1.19	1.20	1.33	2.75	1.33	0.67	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	50	70	11	4	13	27	2	1	1	2	9
	定点あたり	1.39	1.94	1.10	0.67	3.25	9.00	0.67	0.25	1.00	0.50	9.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	27	25	2							
	定点あたり	2.00	4.50	8.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～4週)

2類感染症	結核	16例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	1例(1)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	1例
	梅毒	1例(1)				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～4週)(参考)

()内は今週届出分、再掲

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1 (鳥類))	3例(3)
-------	---------------------	-------